

**名東区障害者自立支援連絡協議会広報「メイトーーク」2017年第3号**

|  |  |
| --- | --- |
|  | 「全体会」を開催しました。 |
|  | 平成29年10月27日（金）、「全体会」を開催いたしました。  今年度第３回目、部会からの報告を中心に行なっています。  「しる部会」では、「ヘルパーさん向け交流会」を企画しています。小規模の事業所では研修もままならない、という課題がありましたので、「家事のコツを学ぶ研修」と「ヘルパーさん同士のつながりの場」を試しに作ってみました。この広報が出るころには、終了していると思いますので、またどこかでお知らせします。  「うごく部会」は、『どこいこめいと』のささしま・名駅号を作成しています。また、「車いす介助の研修会」企画を、３月に開催する予定です。  「そだつ部会」では、卒業後の進路について、就労移行支援事業所の方をお招きしてお話していただいています。また、11月には、なかなか研修機会がないことが判明した「児童虐待」の防止や対応について、児童相談所から職員さんをお招きして、研修を行なう予定です。12月1日には、恒例となってきた、千種区・守山区との３区合同企画「あそんで学んでつながるセミナー」を開催予定です。  「まもる部会」からは、プロジェクターを使用した報告が二つ、ありました。  まず、「障害者差別解消法」に関して。「たけしくんがラーメンをすきになったわけ」という紙芝居を使用した西宮市の広報番組「まるごと市政」を紹介しました。  （Youtubeで公開されています　>>>　<https://www.youtube.com/watch?v=N0E-94O7mMQ>）  「差別の解消」「合理的配慮」といった法律の文言からは、堅い、難しいイメージを受けてしまいがちですが、身近なこととしては、「小さな気づかい」が社会のいろいろなところにあったら、生きづらさが少し解消されるかもしれない、ということだと思います。  次に、名東区手をつなぐ育成会さん主催の、「知的障害疑似体験～知ってほしい！わたしたちのこと～」に参加した際の様子を、スライドとムービーで紹介しました。兵庫県たつの市で、知的障害に関する啓発活動を行なっている「ぴーす＆ピース」さんをお招きし、言葉では伝えづらい部分も多い知的障害の特性を、実際に体験してみるという企画です。「知的」という部分に注目すると見落とされがちな、認知機能や感覚の特性について学ぶ機会となりました。障害福祉の関係者だけではなく、市民のみなさんに広く体験していただき、少しでも理解を深めていただけるよう、名東区でも何かできないか検討されていくと思います。  後半では、基幹相談支援センターの職員より、「『我が事・丸ごと』の地域づくりの推進について」という研修への参加報告と、意見交換が行われました。  社会情勢の変化に伴い、かつては想定されていなかった様々な、複合的な課題を抱えるかたや家庭が多くなり、既存の制度だけでは手当てができなくなってきている、という現状認識がなされています。その解決のため、また、その先にある共生社会の実現のためには、地域住民が主体的に関わる、つまり「わがことのように」考え、一方で専門職や支援者は、課題に対して世代や分野を越えて取り組む、つまり「まるごと」支えることが必要になるだろうと考えられています。そのため「『我が事・丸ごと』の地域づくり」と呼ばれているようです。  こういった取り組みがすでに行われている市町もあるようですが、では名古屋市、名東区としてどのように考えていくのか、意見交換をしていただきました。  分野を越えた協働、という点では、高齢の分野（いきいき支援センター）と障害の分野（基幹相談支援センター）での連携がケースを通じて行なわれています。また、児童（とその家庭）の課題についても、学校や子ども応援委員会と連携するケースがありました。  その他、民生・児童委員連絡協議会にお招きいただいて、障害理解等についてのお話をさせていただいたり、ケースに関わる中で民生委員さんにもご協力いただいたり、と地域とのつながりも少しずつ築いてきています。  求められているのは、こうした小さな接点をより強いつながりへと進める仕組みづくりなのかもしれません。現状、名古屋市でそのような動きをするのは難しいでしょう。縦割りの行政に横糸を通すことが、『我が事・丸ごと』には欠かせないと言われていますが、大都市、政令市は行政組織が大きく、分野ごとで細やかに支援を拡充してきた、という背景がありますので、簡単なことではありません。だからといって何もしない、ということでは、現実に対応していくのもまた難しいと思います。  名東区では、現時点でのつながりを生かして、それらを広げていくよう活動することはもちろん、困っている、生きづらさを感じているかたや家庭に支援が届くようにするための連携であることを忘れず、取り組んでいきたいと思います。  ご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。次回の全体会は、1月を予定しています。よろしくお願いいたします。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 協議会からのお知らせ | |
|  | ○ | 名東区障害者自立支援連絡協議会では、区内の当事者団体や支援者からの提案・依頼を受けて、地域の  ニーズに即した取り組みをしていきたいと考えています。興味のあるテーマや、みんなで知っておく  必要性を強く感じる話題など、ご連絡いただければ部会活動や研修会の企画につなげたいと思います。  また、ご要望をいただけば、出張勉強会のようなことも可能です。  ＜連絡先＞・名東区障害者基幹相談支援センター本部事務所　　　TEL：052-739-7524  ・名東区障害者基幹相談支援センターサテライト　　　TEL：052-702-2863  ＜ブログ＞・　ＵＲＬ：http://meito-kikan.sblo.jp/ |
|  |  |
|  |  |

◆編集後記◆

＜平成＞の終わる日にちが決まったようです。新しい仕組みで

つながっていくものがあります。さて、何をつなげていけるのか。「隙間風　苦し紛れに　夢を追い」（Y）

平成29年12月7日発行　編集：名東区障害者自立支援連絡協議会

連絡先：名東区障害者基幹相談支援センター（サテライト）

TEL：702-2863　FAX：701-2079

MAIL：yoshida@meito.or.jp